

砂防・地すべり・急傾斜

砂 防 課



大沢 2 号地区急傾斜地崩壊対策事業（秋田市手形大沢）
平成元年度 L = 99.8m、法枠工 A = 1,010.7㎡

1 砂防事業の概要

本県の河川の水源地および溪流は荒廃が甚だしく、特に融雪降雨に際し土石流による災害が頻々と発生している。砂防事業はこの土砂災害を防止するため砂防ダム工、砂防流路工等を溪流において施行するものである。本県における砂防事業の歴史は浅く、事業着手は昭和8年度である。以来、平成元年度までに事業費約844億4千万円をもって砂防ダム工830基、砂防流路工延長約139kmを実施した。

(砂防事業の推移・公共事業)

箇所数	昭和59年度		昭和60年度		昭和61年度		昭和62年度		昭和63年度		平成元年度	
	工事箇所数	工事完成数	工事箇所数	工事完成数	工事箇所数	工事完成数	工事箇所数	工事完成数	工事箇所数	工事完成数	工事箇所数	工事完成数
米代川水系	17	8	20	5	17	11	17	6	23	7	26	8
雄物川水系	12	5	10	—	11	5	10	4	7	4	4	1
子吉川水系	30	14	28	10	29	11	26	11	30	11	34	8
2級その他水系	14	4	14	3	15	1	17	8	14	4	15	2
計	6	3	8	2	7	1	6	3	6	3	5	1
	2	—	2	—	2	1	2	1	1	—	1	—
	5	1	5	2	8	1	9	5	7	3	5	2
	2	—	2	1	2	1	3	—	5	1	6	3
	58	26	61	19	61	24	58	25	66	24	70	19
	30	9	28	4	30	8	32	13	27	9	26	6
事業費	4,674,000千円		4,893,000千円		5,502,000千円		6,446,679千円		6,356,000千円		6,449,000千円	

- ◎備考……① 上記表の上段は砂防ダム工、下段は砂防流路工を表わしたものである。
 ② 完成数以外は翌年度へ工事を継続するものである。

(砂防設備一覽表)

事業名 工種	通常砂防	災害復旧	県 単	計	摘 要
ダム工	830 基	13 基	9 基	852 基	
流路工	138,718.1 m	77,178.7 m	19,006.4 m	234,903.2 m	
床固工	16 基	—	—	16 基	
水制工	42 ヶ所	—	—	42 ヶ所	
護岸工	—	—	3,579.2 m	3,579.2 m	

平成2年. 3. 31現在

(砂防指定地一覽表)

水系別	溪流数	箇所数	面積 (ha)
(一級水系)	841	1,161	8,512.19
米代川	375	496	3,560.41
雄物川	376	546	4,146.11
子吉川	90	119	805.67
(二級水系)	92	122	964.70
(その他水系)	32	36	127.52
合計	965	1,319	9,604.41

平成2年. 3. 31現在

2 地すべり対策事業

本県の地すべりは第三系の台島、西銅沢層のいわゆるグリーンタフと女川層の頁岩および泥岩の地質に多く発生しており、これらの発生地域は、出羽丘陵の南北両端と奥羽背梁山脈の西縁にある男鹿半島に集中している。

この対策として昭和28年度から防止工事に着手し、平成元年度まで事業費約121億1千9百万円をもって55箇所に着手し、内33カ所を概成している。

(地すべり対策事業の推移・公共事業)

箇所数 水系	昭和59年度		昭和60年度		昭和61年度		昭和62年度		昭和63年度		平成元年度	
	工事箇所数	うち完成数	工事箇所数	うち完成数	工事箇所数	うち完成数	工事箇所数	うち完成数	工事箇所数	うち完成数	工事箇所数	うち完成数
雄物川水系	2	—	4	—	4	—	4	1	3	—	4	—
米代川水系	3	—	3	—	3	—	4	—	6	—	6	—
子吉川水系	3	1	2	—	2	—	2	—	3	—	3	—
その他水系	2	—	2	—	2	1	1	—	1	—	1	—
その他	4	1	3	—	3	—	5	3	3	—	4	1
計	14	2	14	—	14	1	16	4	16	—	18	1
事業費	545,500千円		580,000千円		629,600千円		1,001,200千円		1,038,700千円		1,771,600千円	

◎ 備考……完成数以外は翌年度へ工事を継続するものである（緊急事業を含む）。

(地すべり防止区域指定一覧表)

水系名	箇所数	面積 (ha)	概成箇所数	面積 (ha)
(一級水系)	46	1,437.02	23	522.74
米代川	17	557.24	8	206.95
雄物川	16	512.73	6	141.81
子吉川	15	443.27	9	173.98
(二級水系)	7	136.93	5	103.03
(その他水系)	8	129.86	5	68.85
合計	63	1,780.03	33	694.62

平成2年. 3. 31現在

3 急傾斜地崩壊対策事業

近年各地に急傾斜地の崩壊が頻発し、人命、財産に重大な被害をもたらしているが、政府においてもこの問題を重視し、昭和44年8月「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」を制定し防止工事の実施と併行して有害行為を規制するなど総合的な対策の強化を計っている。

本県においては、昭和43年から防止工事に着手し、平成元年度まで事業費約175億6千百万円をもって248箇所に擁壁工及び吹付工を施工し概成している。

(急傾斜地崩壊対策事業の推移・公共事業)

年 月 事業名	昭和59年度		昭和60年度		昭和61年度		昭和62年度		昭和63年度		平成元年度	
	工事 箇所数	うち 完成数	工事 箇所数	うち 完成数	工事 箇所数	うち 完成数	工事 箇所数	うち 完成数	工事 箇所数	うち 完成数	工事 箇所数	うち 完成数
急傾斜地 崩壊対策工事	29	10	33	10	36	8	38	10	34	9	31	9
事業費	869,500千円		940,200千円		913,000千円		1,204,050千円		1,010,440千円		1,008,365千円	

備考………完成数以外は翌年度へ工事を継続するものである(緊急及び災害関連事業を含む)。

(急傾斜地崩壊危険区域指定箇所数)

地区名	箇所数	面積 (ha)	概成箇所数	面積 (ha)
鹿角	34	88.58	12	24.26
北秋田	52	80.46	37	49.90
山本	48	74.50	38	54.23
秋田	112	203.61	84	136.62
由利	59	112.88	28	42.88
仙北	36	35.06	20	20.76
平鹿	23	35.48	13	18.95
雄勝	40	68.42	16	23.44
計	404	698.99	248	371.04

平成2年. 3. 31現在